

令和4年度とくしま流域水管理委員会 開催結果

日時：令和5年3月13日（月）13時～14時25分

場所：徳島県庁11階 1105会議室

【概要】

令和4年度とくしま流域水管理委員会では、とくしま流域水管理行動計画について、今年度までに策定した計画の取組状況や新たに策定した計画（明連川・坂本川）、各流域区分のとりまとめ（吉野川下流域・那賀川流域）について委員に報告し、意見を伺うとともに、今後も本計画を推進していくことを確認しました。

【意見要旨】

- ・河川へのアクセス確保のための階段は、スロープや手すりなどの設置を検討頂きたい。
- ・地元の方々にどれほど計画が浸透しているのか分かる資料があれば良いと思った。
- ・三重県紀宝町で実施しているコミュニティタイムラインを参考に、それぞれの地域で横展開していくことも重要であると思う。
- ・明連川での計画については、社会福祉施設や学校なども巻き込み、取組を進めていくと良いのではと思った。
- ・明連川での防災講座については、吉野川の洪水の歴史を踏まえ明連川がどのように変遷してきたのかを伝承していくことが大切であるため、通常の内容に加え、工夫して頂きたい。
- ・坂本川については土砂の堆積や河道内植物の繁茂に対する地元の関心は非常に高いと思うので、ぜひこの形で計画を進めて頂きたい。
- ・河川の点検をしやすくするためにも、階段等の整備も重要であると思う。
- ・世代交代のためには、若者が集まるイベントや地元行事とタイアップすることも考えてはどうか。
- ・各流域区分のとりまとめについて、対象範囲が示されているが、市町村境を明記してはどうか。
- ・各流域区分のとりまとめについて、資料としてまとめることは非常に良いことだと思う。
- ・各河川で計画が一回りした段階で地元の方々に来て頂いて意見や取組を発表して頂くことや、水会議の一環としてシンポジウムを開催し、意見を発表することなどを検討して頂きたい。
- ・とくしま流域水管理計画に位置づけられている「水教育推進プラン」について、「多様な主体と連携した施策」があげられているが、関係する主体が多すぎ、連携して取組を進めることができないのであれば、今後計画を見直す必要があるように思う。
- ・現在のまま水教育を推進するのであれば、県として各流域に働きかけ、水教育の仕組みづくりや学校と連携した水教育、県民の意識向上のための行事や講師派遣、発信など、積極的かつ具体的な方策を講じる必要があるように感じる。